

タイ産ドライトロピカルフルーツ市況

パイナップル

ドライパイナップル製品の原料は、タイ中部全域において栽培されており、年間を通じて収穫されます。昨年発生した干ばつの影響から、原料の供給不足が懸念されており、実際に地域によっては一部缶詰メーカーで原料供給が滞っている模様です。弊社がドライパイナップル製品を買付けしているパッカーによると、現在のところ供給不足に陥る状況ではないですが、日に日に原料の引き合いが強まっており、価格も高騰している事から、早めのオーダーを推奨されています。

パパイヤ

原料パパイヤもパイナップルと同様に通年収穫され、特に11月～1月が収穫最盛期となります。一昨年タイ北部・中部で発生した洪水の影響から、多数のパパイヤの木が流され、土壌が弱ったために原料パパイヤに病害が発生し、供給量が通常の約1/3程度となりました。また、タイではサラダと共に生鮮パパイヤを食す需要があり、生鮮パパイヤへの供給が優先され、ドライパパイヤや缶詰製品等の加工向けへの供給が逼迫している状況が続いています。洪水が終息して1年経過しましたが、収穫最盛期となる11月迄は原料不足が続くものと見られます。

マンゴー

ドライマンゴー製品となるKaew種マンゴーは、例年4月～5月に収穫されますが、今期は生育期における水不足の影響から1ヶ月程収穫が遅れ、6月末に収穫が終了する見込みです。また、水不足はマンゴーの生育にも影響を及ぼし、一部開花後に結実しないものが発生し、昨年の約10～20%減の収穫量となると見られています。

以上の通り、パイナップル、パパイヤ、マンゴーの各原料は、洪水や干ばつの影響を受け、原料価格が上昇しています。更に、昨年末より急速に進行している円安・パーツ(THB)高の影響から、タイ産ドライトロピカルフルーツ製品各種の価格が高騰しています。詳細につきましては弊社営業担当者よりご連絡させていただきます。